



研究成果発表会「ふれあい報告会」のご案内

畜産研究所の研究成果発表会である「ふれあい報告会」を下記のとおり開催します。

午前の部では各研究部の報告を、午後の部の講演会においては、日本女子大学 家政学部食物学科 飯田文子教授にご講演いただきます。ぜひ、多くの方のご出席をお願いします。

記

1 日 時 平成29年11月24日（金） 10:00～15:00

2 場 所 JAひだ 飛騨地域農業管理センター 大会議室（高山市冬頭町15-1）

3 内 容

(1) 研究成果発表会（10:00～12:00）

「飛騨牛の特徴とおいしさについて」

飛騨牛研究部 浅野 琢満 主任研究員

「経膾採卵と過剰排卵処理を組み合わせた乳用牛雌胚の大量生産技術の検討」

酪農研究部 眞鍋 典義 研究員

「飼養中の精米の多給による豚肉の官能評価への影響」

養豚・養鶏研究部 吉岡 豪 主任専門研究員

「採卵鶏における飼料用米（粳）給与方法について」

養豚・養鶏研究部 園原 浩昭 主任専門研究員

(2) 講演会（13:00～15:00）

「食肉の食味に関与する因子について」

日本女子大学 家政学部食物学科 飯田 文子 教授

研究成果発表会及び講演会の内容

「飛騨牛の特徴とおいしさについて」

飛騨牛研究部

和牛の改良は、「脂肪交雑の量」から「おいしさ」に移行してきています。そのため、「おいしさ」に関わる形質あるいは物質の解明が求められており、「おいしさ」に関する指標化を目的とし、全国的にその研究が進められています。岐阜県が有するブランド「飛騨牛」は、「肉色」「小ザシ」「腿抜け」を特徴としていますが、本発表では、その飛騨牛の特徴形質を絡め、「おいしさ」に関わる当研究部の取り組みを報告します。

「経膣採卵と過剰排卵処理を組み合わせた乳用牛雌胚の大量生産技術の検討」

酪農研究部

酪農研究部では平成20年から家畜性判別胚供給事業を開始し、高能力乳用牛の雌胚を供給しています。近年、酪農家のニーズが高まり、供給胚数が増加してきました。限られた頭数の高能力ドナーから、酪農家の要望に応えられるだけの雌胚を生産・供給するためには、ドナー1頭当たりの生産個数を増やす必要があります。今回、搾乳中の高能力ドナーを対象に経膣採卵と過剰排卵処理を組み合わせることで胚の生産個数を増やすことができないか検討を行いましたのでその概要を報告します。

「飼養中の精米の多給による豚肉の官能評価への影響」

養豚・養鶏研究部

これまで当研究部では、飼料原料の違いが飼養成績、肉質に与える影響を調査してきました。トウモロコシを主体とした一般的な飼料と、トウモロコシを精米、小麦、甘藷に置き換えた飼料を肥育豚に給与する飼養試験を行ったところ、精米を主要原料とした飼料を給与した場合、豚肉の脂肪中のオレイン酸割合が有意に上昇することが観察されています。今回はこれらの豚肉を用いた消費者型官能評価の結果について報告します。

「採卵鶏における飼料用米（粳）給与方法について」

養豚・養鶏研究部

採卵鶏における飼料用米の給与は、年々利用農家が増加し定着しつつありますが、飼料用米の長期給与の飼養成績や卵質等への影響についてはあまり知られておりません。そこで一般農家において利用しやすい、市販配合飼料への添加という方法で採卵鶏に長期給与し、その影響を検討したので報告します。

講演「食肉の食味に關与する因子について」

日本女子大学家政学部 飯田文子 教授

と畜後の食肉の食味要因には、内的要因である食肉中の脂肪含量やうま味成分量の違いと外部要因である熟成や調理方法が影響します。分析型官能評価による牛肉・豚肉・鶏肉のおいしさに寄与する因子について、今まで得られたデータにより解説します。また、牛肉に関しては、と畜後の熟成日数に伴う肉質変化を食味特性から考慮した場合、どのあたりに適正値があるのか、テクスチャーや味・風味の変化から推察します。最後に今後求められるであろう理想の食肉について考えます。

現場後代検定枝肉研究会の開催のお知らせ

【飛騨牛研究部】

種雄牛候補牛「永福久（ながふくひさ）」号の産肉能力検定に係る枝肉研究会を下記のとおり開催します。

記

1 日 時 平成29年11月16日（木）

・枝肉参観 9：30～10：30

・枝肉研究会 10：40～11：30

2 場 所 飛騨ミート農業協同組合連合会 飛騨牛会館（高山市八日町327番地）

また、今年度の現場後代検定枝肉研究会の開催予定は次のとおりです。

- ・「正義久（まさよしひさ）」号 平成30年 1月
- ・「八重藤（やえふじ）」号 平成30年 3月

【場 所】 飛騨ミート農業協同組合連合会 飛騨牛会館

岐阜県畜産研究所 ホームページ <http://www.livestock.rd.pref.gifu.lg.jp>

- 飛騨牛研究部 506-0101 高山市清見町牧ヶ洞 4393-1
Tel 0577-68-2226 Fax 0577-68-2227 Email boxbeef@livestock.rd.pref.gifu.jp
- 酪農研究部 509-7601 恵那市山岡町久保原 1975-615
Tel 0573-56-2769 Fax 0573-56-2974 Email boxdairy@livestock.rd.pref.gifu.jp
- 養豚・養鶏研究部 505-0037 美濃加茂市前平町 3-8
Tel 0574-25-2185 Fax 0574-28-4132 Email boxswine@livestock.rd.pref.gifu.jp
- 養鶏・養鶏研究部関試験地 501-3924 関市迫間 2672-1
Tel 0575-22-3165 Fax 0575-22-3164 Email boxpoultry@livestock.rd.pref.gifu.jp